

# EasyBlocks

## Webキャッシング向け Proxyモデル ユーザーズガイド



本紙対象型番：EBX3/PROXY, EBAX/PROXY-ST, EBAX/PROXY-E/5Y

Ver2.0.0

ぷらっとホーム株式会社

## ■ 商標について

- ・ その他記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

## ■ 重要なお知らせ

本書の内容の一部または全部を、無断で転載することをご遠慮ください。

本書の内容は予告なしに変更することがあります。

本書の内容については、正確を期するように努めていますが、誤り等に起因する結果について責任を負いかねます。

# 目次

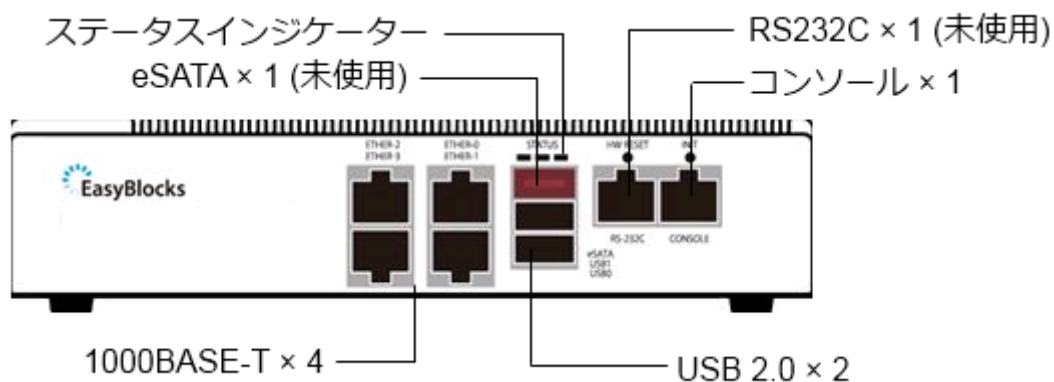
第1章 はじめに .....	4
1-1. 各部の名称 .....	4
1-2. INIT スイッチの操作 .....	6
1-3. 出荷時設定情報 .....	7
第2章 設置・初期設定 .....	8
2-1. 設定に必要な情報の確認 .....	8
2-2. 設置方法 .....	9
2-3. 管理インタフェースへの接続 .....	9
2-4. 初期設定 .....	10
第3章 管理インタフェース .....	14
3-1. システム .....	15
3-2. ネットワーク .....	17
3-3. メンテナンス .....	19
3-4. Proxy サービスの設定 .....	21

# 第1章 はじめに

## 1-1. 各部の名称

型番：EBX3/PROXY

### ■ 前面コネクタ



### ■ 背面コネクタ



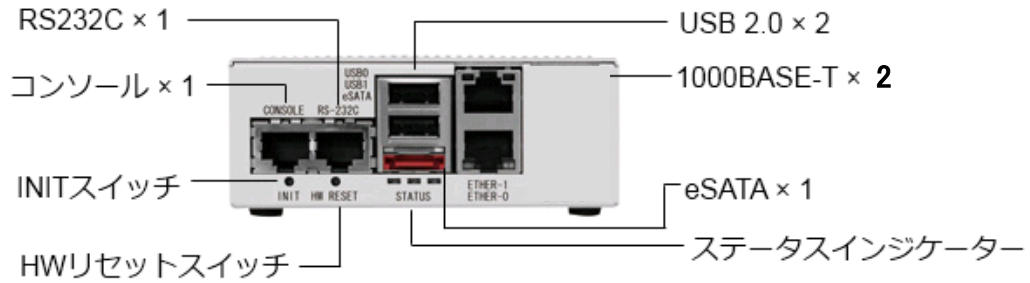
ケーブルクランプの取り付け

AC-IN 下の穴に添付のクランプを差し込みます

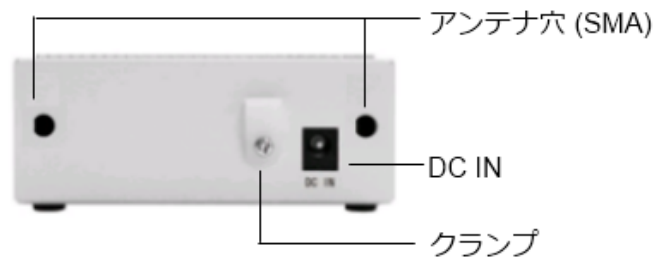


型番：EBAX/PROXY-ST, EBAX/PROXY-E/5Y

■ 前面コネクタ



■ 背面コネクタ



◆ ステータスインジケータの点灯について (共通)

停止中：

全て消灯しています

稼働中：

黄→緑→赤→緑→黄・・・のように、上下に点灯・消灯を繰り返します  
負荷が高くなるにつれて、3段階で速度が変化します

停止後(シャットダウン処理後)：

黄・緑・赤の3色が、全て同時に点滅を繰り返します

## 1-2. INIT スイッチの操作

INIT スイッチの操作により、初期設定状態での起動、停止・再起動の実行が可能です。

### 初期設定状態での起動

本体 INIT スイッチを押しながら(5 秒程度)電源 ON する

### 起動時からの再起動

INIT スイッチを 0~4 秒間(2 秒までは黄色点灯、4 秒までは緑色点灯となります)  
押し続けた後に、スイッチを解放すると再起動処理が開始されます。

### 起動時からの停止

INIT スイッチを 5 秒以上(赤色点灯となります)押し続けた後に、スイッチを解放すると停止処理が開始されます。停止完了後は、LED 全色が同時に点滅します。

## 1-3. 出荷時設定情報

### ■ IP アドレス

		EBX3/PROXY	EBAX/PROXY-ST EBAX/PROXY-E/5Y
Ether-0	IP アドレス :	192.168.254.254	192.168.254.254
	ネットマスク :	255.255.255.0	255.255.255.0
Ether-1	IP アドレス :	未設定	未設定
	ネットマスク :	未設定	未設定
Ether-2	IP アドレス :	未設定	I/F なし
	ネットマスク :	未設定	
Ether-3	IP アドレス :	未設定	
	ネットマスク :	未設定	

### ■ WEB I/F のアドレス

Ether-0 : <http://192.168.254.254:880/>

### ■ WEB I/F の管理者ユーザー

初回アクセス時に、ご自身で設定していただきます。

## 第2章 設置・初期設定

### 2-1. 設定に必要な情報の確認

#### 必須項目

- ・ ネットワーク
  - 設置構成 (Proxy 型または Bridge 型)
  - Ether-0 の IP アドレス/ネットマスク
  - デフォルトゲートウェイ
  - DNS サーバー
- ・ Proxy サービス
  - ポート番号
  - 管理者メールアドレス
  - FTP 接続用パスワード(管理者メールアドレスと同じでも良い)

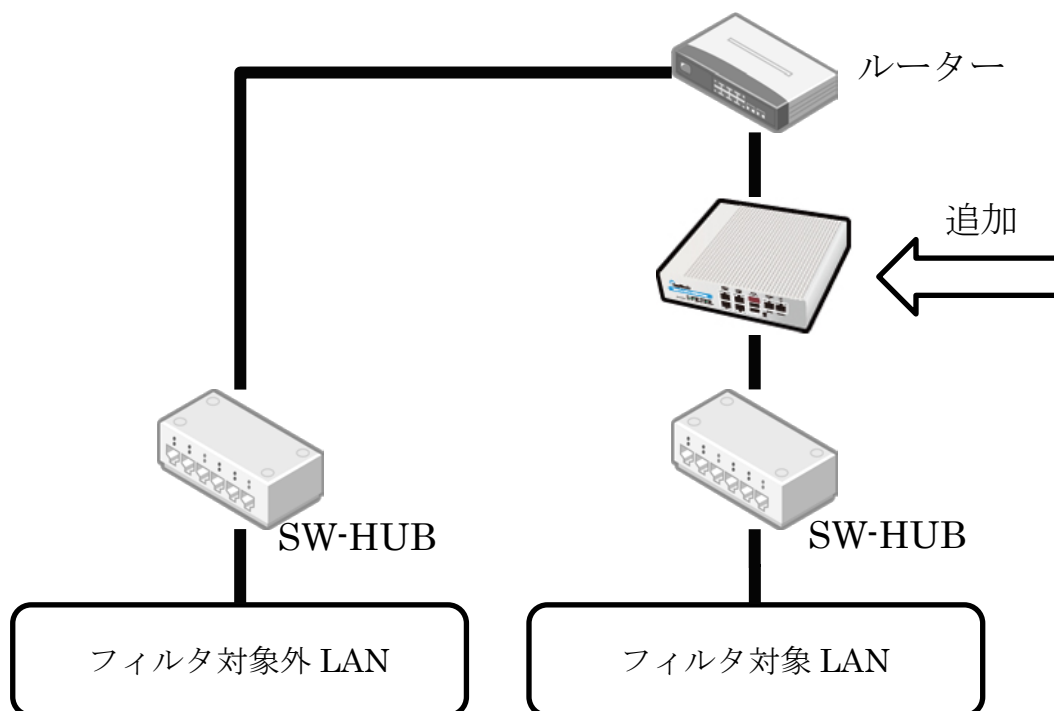
#### 任意項目

- ・ システム
  - NTP サーバー
- ・ ネットワーク
  - Ether-1/2/3 の IP アドレス/ネットマスク
  - 静的ルーティング
- ・ Proxy サービス
  - 上位 Proxy の IP アドレス及びポート番号(必要な場合は ICP ポート番号も)
  - ログを転送する場合の Syslog サーバー及びファシリティ (LOCAL0~7)
  - アクセス制限をかける場合の許可ネットワークの範囲



## 2-2. 設置方法

以下の図は、既存 LAN への本製品の追加例を図に表したものです。本製品の 2 つのネットワークポートを活用し、一方をルーター、もう一方を生徒用ネットワークに接続します。このような形態を取ることで、全ての通信が本製品を通ることになり、フィルタリングとキャッシュが最大限活かされます。



図： 既存 LAN への追加例

## 2-3. 管理インターフェースへの接続

初期設定は、設定用 PC との 1 対 1 のクロスケーブル接続を推奨します。1-2. 出荷時設定情報に記載の IP アドレスに合わせて、設定用 PC の IP アドレスを重複のないように変更して下さい(192.168.254.10 や 11 等、0/254/255 以外)。その後、次の URL を開くことで、設定を開始できます。

Ether-0 : <http://192.168.254.254:880/>

## 2-4. 初期設定

管理インタフェースを表示すると、初期設定画面が表示されます。



使用許諾契約書に同意することで、設定項目が表示されます。

初期設定

---

**使用許諾契約書の確認**

使用許諾契約書

---

**管理者アカウント**

ユーザー名

パスワード

パスワード(確認)

---

**サポートデスク**

アカウント

---

**上位Proxy**

IPアドレス:ポート:ICPポート :

---

**操作**

ユーザー名 :	管理インタフェースへのログインに使用します。 アルファベット(A-Z,a-z)及び数字が使用できます。
パスワード :	同用途のパスワードです。
パスワード(確認) :	打鍵間違いを防ぐための再入力です。
サポートデスク :	サポートデスク加入者に発行されるアカウント アップデータは、このアカウントが有効な場合のみダウンロード可
上位 Proxy :	転送先の上位 Proxy がある場合に入力します

これらを設定後、保存することで次の画面に進みます。

ホスト名 (🔗)   
 ドメイン名 (🔗)   
 デフォルトゲートウェイ (🔗)   
 DNSサーバー1   
 DNSサーバー2   
 DNSサーバー3   


---

**設置**  
 設置構成  Proxy型 (🔗)  Bridge(透過)型 (🔗)  


---

**サービスネットワーク (Ether-0)**  
 IPアドレス   

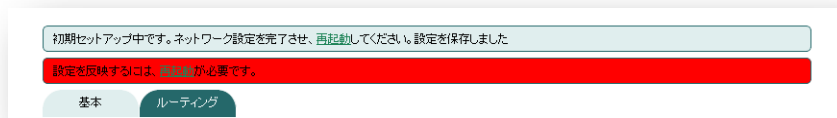

---

**サービスネットワーク (Ether-1)**  
 使用する  はい  いいえ



ホスト名 :	EasyBlocks に割り当てるホスト名
ドメイン名 :	EasyBlocks に割り当てるドメイン名
デフォルトゲートウェイ :	ルーターや L3SW 等、サービスネットワークのゲートウェイアドレス
DNS サーバー :	EasyBlocks が参照する DNS サーバー
設置構成 :	Proxy 型 又は Bridge(透過)型 を選択します。
Proxy 型	
Ether-0 IP アドレス :	Ether-0 に割り当てる IP アドレス
Ether-1 IP アドレス :	Ether-1 に割り当てる IP アドレス (使用は選択)
Bridge(透過)型	
Bridge IP アドレス :	Bridge に割り当てる IP アドレス Ether-0 及び 1 をネットワークの上流・下流に接続します。
共通	
Ether-2 IP アドレス :	同上 (※小規模版では存在しません。)
Ether-3 IP アドレス :	同上 (※小規模版では存在しません。)

これらを設定後、保存することで画面上に再起動の案内が表示されます。  
リンクをクリックすることで、再起動画面に移動します。



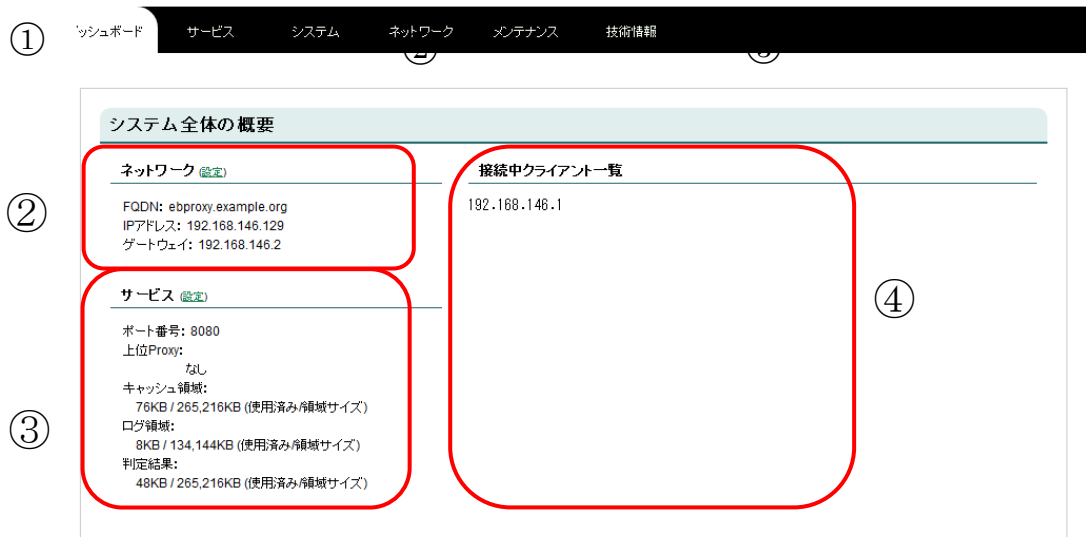
再起動の実行ボタンをクリックすることで、再起動が可能です。

再起動が完了すると、ログイン画面に移動します。  
以降は目的に応じて、サービスの設定を実施してください。

# 第3章 管理インタフェース

管理インタフェースの基本的な画面構造について解説します。

## ■ ダッシュボード



### ① メニュータブ

白抜きの部分が表示中の項目です

ダッシュボード：システム全体の概要を表示します

サービス：Proxy サービスの設定

システム：NTP や管理者ユーザーの設定等

ネットワーク：ネットワーク設定

メンテナンス：アップデートや再起動等

### ② ネットワークの設定を表示

### ③ Proxy サービスの設定を表示

### ④ 接続中のクライアント IP を表示

## 3-1. システム

### ■ 基本

時刻設定 (?)

PCと時刻を同期 (?) 2012/02/27 15:22:06 同期

ntpサーバー1 (?) . . . オプション (prefer maxpoll 10) (?)

ntpサーバー2 . . . オプション

ntpサーバー3 . . . オプション

操作

保存

#### ◆時刻設定

PC と時刻を同期 :	操作用 PC の時刻情報を装置におくり反映させます。
NTP サーバー :	NTP サーバーのアドレスを設定します。

※NTP サーバーによる時刻同期を行う場合は、予め PC と時刻を同期させ誤差を 15 分以内に収めて下さい。

### ■ 詳細

リポジトリ情報 (?)

サポートデスクアカウント (?) アカウント: xxxxxxxxxxxx パスワード: (\*\*\*\*\*)

操作

保存

#### ◆リポジトリ情報

サポートデスクアカウント :	アップデートのダウンロードの際に必要となります。
----------------	--------------------------

## ■ WEB 管理者

ユーザー名 :	管理インターフェースのためのユーザーアカウントです。
パスワード :	同上
権限 :	すべての設定変更が可能な「全権」、参照のみ可能な「参照のみ」があります。

## ■ マイページ

ユーザー名 :	ログイン中のアカウントの登録情報を編集するため、ユーザー名は変更できません。
パスワード :	変更する場合のみ入力して下さい。



## 3-2. ネットワーク

### ■ 基本

ホスト名 :	EasyBlocks に割り当てるホスト名
ドメイン名 :	EasyBlocks に割り当てるドメイン名
デフォルトゲートウェイ :	ルーターや L3SW 等、サービスネットワークのゲートウェイアドレス
DNS サーバー :	EasyBlocks が参照する DNS サーバー
設置構成 :	Proxy 型 又は Bridge(透過)型 を選択します。
Proxy 型	
Ether-0 IP アドレス :	Ether-0 に割り当てる IP アドレス
Ether-1 IP アドレス :	Ether-1 に割り当てる IP アドレス (使用は選択)
Bridge(透過)型	
Bridge IP アドレス :	Bridge に割り当てる IP アドレス Ether-0 及び 1 をネットワークの上流・下流に接続します。
共通	
Ether-2 IP アドレス :	同上 (※多ポートモデルのみ)
Ether-3 IP アドレス :	同上 (※多ポートモデルのみ)

## ■ ルーティング

基本 ルーティング

静的ルーティングが必要な場合は、ここで設定を行います。

**ターゲットとゲートウェイ**

ネットワークアドレス  .  .  .  /

ゲートウェイ  .  .  .

**操作**

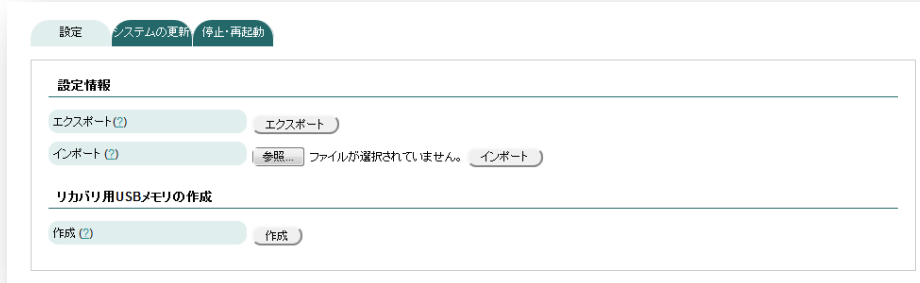
**一覧**

ネットワークアドレス	ネットマスク	ゲートウェイ	操作
------------	--------	--------	----

ネットワークアドレス :	接続先のネットワークアドレス、ネットマスクを入力します。
ゲートウェイ :	利用するゲートウェイのアドレスを入力します。

## 3-3. メンテナンス

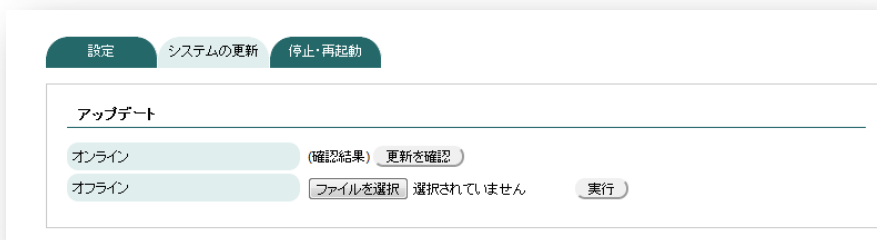
### ■ 設定



設定情報エクスポート：	EasyBlocks 全体の設定をエクスポートします。
設定情報インポート：	EasyBlocks 全体の設定をインポートします。
リカバリ用 USB メモリの作成：	リカバリ用の USB メモリを作成します。 ボリュームラベル「EB_CONFIG」を指定し、VFAT でフォーマットを行った後、設定情報を書き込みます。 添付の USB メモリをご利用下さい。

※設定情報のエクスポートにアクセスリストと直接編集モードで作成されたファイルはリカバリ用 USB メモリにのみ含まれます。 設定情報のエクスポートには含まれない点、ご注意ください。

### ■ システムの更新



オンライン：	「更新を確認」で最新バージョンの有無を確認し、アップデートがある場合は、更新ボタンが表示されます。
オフライン：	WEB サイトからダウンロードした、アップデートデータを使用して更新を実行します。

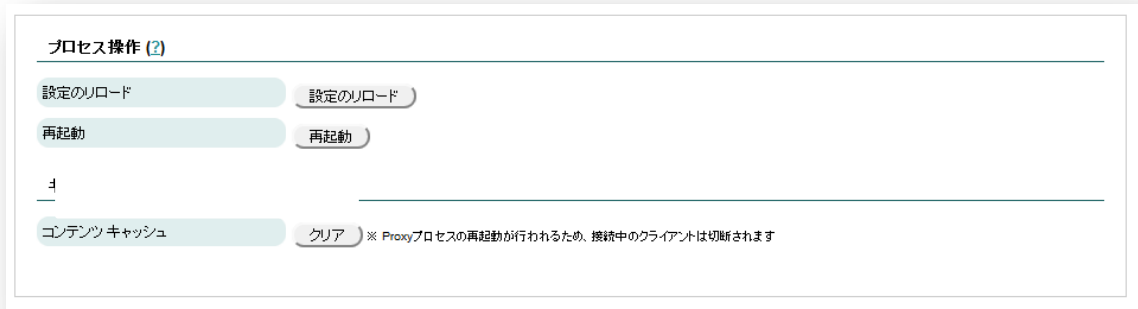
■ 停止・再起動



停止 :	停止します
再起動 :	再起動します

## 3-4. Proxy サービスの設定

### ■ プロセス



### ◆ プロセス操作

設定のリロード :	稼働中のプログラムを停止すること無く、設定のリロードを行います。
再起動 :	稼働中の Proxy を停止し再起動を行います。 直接編集モードへ移行する場合、あるいは直接編集モードでサービスに適用する設定ファイルを変更した場合に用います。 キャッシュ・ログ領域の RAM ディスクを再確保しますので、記録されていたキャッシュ・ログは初期化されます。

### ◆ キャッシュ操作

コンテンツキャッシュ :	コンテンツキャッシュのクリアを実行します。 プロセスの再起動が発生するため、接続中のクライアントは切断されます。
--------------	---

## ■ 基本

### 基本設定

直接編集モード ( ? )  有効  無効

ポート番号

管理者メールアドレス

FTP用パスワード

キャッシュ ( ? )  有効  無効

キャッシュメモリサイズ ( ? )  MB

最大オブジェクトサイズ ( ? )  KB

最大オブジェクトサイズ(メモリ) ( ? )  KB

IPv4 接続優先 ( ? )  IPv4  IPv6

接続元 IP の通知 ( ? )  通知する  通知しない

---

### ログ

ファシリティ (アクセスログ)

転送  有効  無効

本体内ログ ( ? )  残す  残さない

SNMP ( ? )  有効  無効

---

### 上位プロキシ

上位転送  有効  無効

---

### アクセス制御

IP フィルタ ( ? )

Proxyを介さないネットワーク  指定  なし

Proxy アクセス制御方式 ( ? )

---

### 操作

### \*アクセス制御における接続元ネットワークの指定

IP フィルタ等、接続元ネットワークを指定する項目については、次の4つから選択することができます。

どこからでも可	接続元ネットワークを制限しません。
ローカルネットワーク	EasyBlocks に直接接続するネットワークからのアクセスに制限されます。
プライベートネットワーク	10.0.0.0/8, 172.16.0.0/12, 192.168.0.0/16 のプライベートネットワークからのアクセスに制限されます。
ネットワークを指定	任意のネットワークを設定することができます。

◆基本設定

直接編集モード：	Proxy の設定ファイル(squid.conf)を直接編集します。 設定ファイルの編集は、「保存」の実行により表示される「直接編集」タブより行います。
ポート番号：	Proxy として接続を待ち受けるポート番号です。
管理者メールアドレス：	エラー時などに画面表示する管理者の連絡先です。
FTP パスワード：	匿名 FTP サーバーへの接続時に使用するパスワード 管理者のメールアドレス等を指定します。
キャッシュ：	「有効」の場合、参照した WEB サイトについてキャッシュが許可されているコンテンツを本装置内のキャッシュ領域に保持します。 「無効」の場合、代理アクセスを実施するのみで、キャッシュは保持しません。
キャッシュメモリサイズ：	メモリにキャッシュの容量を整数値で指定します。単位は MB です。 squid.conf の cache_mem に設定される値です。
最大オブジェクトサイズ：	キャッシュディスクに保存される最大ファイルサイズを整数値で指定します。単位は MB です。squid.conf の maximum_object_size に設定される値です。
最大オブジェクトサイズ (メモリ)：	キャッシュメモリに保持される最大ファイルサイズを整数値で指定します。単位は KB です。squid.conf の maximum_object_size_in_memory に設定される値です。
IPv4 接続優先：	IPv6 接続が可能な場合において、IPv4/IPv6 のどちらを優先するか選択します。(※RA (Router Advertisement) により IPv6 アドレスが割り振られた場合のみ)
接続元 IP の通知：	接続先に対し、接続元の IP アドレスを通知するか否かを選択します。

◆ログ転送

ファシリティ (アクセスログ) :	ログを保存するファシリティ LOCAL0~7 を指定します。
Syslog サーバー :	転送先の IP アドレスまたはホスト名です。(転送する場合のみ)
本体ログ :	EasyBlocks にログを残すか否かを選択します。
FTP パスワード :	ログファイルをダウンロードするための FTP 接続のパスワードを設定します。(※カスタムモデルのみ)
FTP 接続の制限 :	ログファイルをダウンロードするための FTP 接続の接続元ネットワークを制限します。(※カスタムモデルのみ)
SNMP :	Proxy(squid) の SNMP 機能を有効とするか否かを選択します。Proxy の稼働状況を SNMP で取得したい場合に「有効」を選択します。
SNMP のポート番号 :	SNMP に用いるポート番号を指定します。
SNMP のコミュニティ名 :	SNMP のコミュニティ名を指定します。
SNMP の接続制限 :	SNMP により情報を取得できる接続元ネットワークを制限します。

◆上位プロキシ (必要な場合のみ)

IP アドレス :	上位プロキシサーバーの IP アドレスまたはホスト名
ポート番号 :	上位プロキシサーバーの IP アドレスまたはホスト名のポート番号
ICP ポート番号 :	必要な場合に指定する。使用しない場合は 0 を入力します。

※ 複数指定した場合は、上から順に接続を試みることで冗長構成となります。

◆アクセス制御

IP フィルタ :	IP tables により Proxy を利用するクライアントの接続元ネットワークを L3 レイヤーで制限します。
拡張 IP フィルタ :	直接編集モードにおいて基本設定のポート番号に指定するポート以外のポートを利用する場合に、当該ポート番号と接続元ネットワークを指定します。(直接編集モード時のみ) 基本設定のポート番号に指定するポートと Bridge(透過)モードにおいては、基本設定のポート番号に指定するポート+1 (例えば 8080 であれば 8081) は指定することができません。
Proxy を介さない ネットワーク :	Proxy を介さない (キャッシュしない) ネットワークを指定します。
アクセス制御方式 :	接続元ネットワークによる制限の他、アクセスリストを作成し接続先のドメイン名や URL により制限することが出来ます。 (※次ページ参照)



## ◆ アクセス制御方式 / アクセスリスト

Proxy アクセス制御方式 (2) (9) アクセスリスト

アクセスリスト 1 (2) (8) 許可 接続元: (ネットワークを指定) (7) 接続先: (ドメイン名) (5) (4) 編集

ネットワーク (6)

1. (172) . (16) . (8) . (0) / (23) (2)
2. (192) . (168) . (1) . (0) / (24)
3. ( ) . ( ) . ( ) . ( ) / ( )

リストの編集 (3)

www.plathome.co.jp  
www.ietf.org

(2) 検証 (1) 保存

アクセスリスト 2 (2) (無効) 接続元: (全てのネットワーク) 接続先: (全てのネットワーク) 編集

アクセスリスト 3 (2) (無効) 接続元: (全てのネットワーク) 接続先: (全てのネットワーク) 編集

アクセスリスト 4 (2) (無効) 接続元: (全てのネットワーク) 接続先: (全てのネットワーク) 編集

アクセスリスト 5 (2) (無効) 接続元: (全てのネットワーク) 接続先: (全てのネットワーク) 編集

アクセスリスト 6 (2) (無効) 接続元: (全てのネットワーク) 接続先: (全てのネットワーク) 編集

アクセスリスト 7 (2) (無効) 接続元: (全てのネットワーク) 接続先: (全てのネットワーク) 編集

アクセスリスト 8 (2) (無効) 接続元: (全てのネットワーク) 接続先: (全てのネットワーク) 編集

① アクセス制御方式：	<p>「アクセス制御方式」において「アクセスリスト」を選択するとアクセスリストの入力フォームが表示されます。</p> <p>アクセスリストは、アクセスリスト1から2, 3 …8の順に評価され、最後に与えられたルールと逆のルールが暗黙のルールとして全ての接続に適用されます。</p>
② リストのルール：	<p>「無効」「許可」「禁止」のいずれかを選択します。</p>
③ 接続元：	<p>「全てのネットワーク」「ローカルネットワーク」「プライベートネットワーク」「ネットワークを指定」「アクセスリスト*と同じ」のいずれかから選択する。</p> <p>「ネットワークを指定」を選択すると④が表示される。</p> <p>別のリストで指定されているネットワークについては、「アクセスリスト*と同じ」を選択することも可能です。</p>
⑤ 接続先：	<p>「全てのネットワーク」「ドメイン名」「ドメイン名(正規表現)」「URL」「URLのパスパート」のいずれかを選択します。</p> <p>「ドメイン名」は squid.conf の dstdomain、「ドメイン名(正規表現)」は dstdom_regex、「URL」は url_regex、「URLのパスパート」は urlpath_regex として扱われます。</p>
⑥ 編集：	<p>⑦を表示します。⑤に指定した形式に応じた形式でリストを記載します。</p>
⑧ 検証：	<p>⑦で編集したリストに使用されている文字に不正なものがないか確認します。正規表現の整合性を含め、動作の完全性を保証するものではありません。</p>
⑨ 保存：	<p>⑦で編集したリストを保存します。リストは画面左した「操作」「保存」ボタンでは保存されない点に注意して下さい。</p>

## ■ ログ表示

表示

選択  自動更新 停止 再ロード ダウンロード

```
Aug 28 21:43:23 ebproxy squid[2729]: 1346157803.100 89 192.168.146.1 TCP_MISS/301 576 GET http://livedoor.com/ - DIRECT/125.6.172.15 text/html
Aug 28 21:43:23 ebproxy squid[2729]: 1346157803.435 307 192.168.146.1 TCP_MISS/200 31336 GET http://www.livedoor.com/ - DIRECT/125.6.172.15 text/html
Aug 28 21:43:24 ebproxy squid[2729]: 1346157804.374 83 192.168.146.1 TCP_MISS/200 6273 GET http://image.livedoor.com/cms2/feature_ad/5d1792610882.jpg - DIRECT/125.6.172.37 image/jpeg
Aug 28 21:43:24 ebproxy squid[2729]: 1346157804.431 124 192.168.146.1 TCP_MISS/200 4330 GET http://tc3.search.naver.jp/? - DIRECT/119.235.235.13 image/jpeg
Aug 28 21:43:24 ebproxy squid[2729]: 1346157804.930 74 192.168.146.1 TCP_MISS/200 555 GET http://ics.livedoor.net/m? - DIRECT/119.235.235.27 image/gif
Aug 28 21:43:25 ebproxy squid[2729]: 1346157805.565 205 192.168.146.1 TCP_MISS/200 6030 GET http://openblocks.plathome.co.jp/ - DIRECT/202.32.197.54 text/html
Aug 28 21:43:26 ebproxy squid[2729]: 1346157806.444 175 192.168.146.1 TCP_MISS/200 525 GET http://www.google-analytics.com/_utm.gif? - DIRECT/74.125.235.142 image/gif
```

## ◆ 表示

選択 :	表示可能なログファイルをプルダウンで選択します。
自動更新 :	一定間隔で表示内容の更新を行います。
停止 :	自動更新を停止します。
再ロード :	表示中のログを再表示します。
ダウンロード :	表示中のログをダウンロードします。

## ■ 直接編集

### ファイルの選択

---

**注意**

設定の記述、内容の検証が完了したのちに、[サーバスタブ](#)で設定のリロードを行って下さい。  
サービスに適用する設定ファイルを変更する場合、あるいは直接編集モードを初めて使用する場合は、[サーバスタブ](#)でサービスの再起動を行って下さい。

サービスに適用する設定ファイル (2)

WEB UIで作成した設定をコピー (2)

編集する設定ファイル     
(target file name to copy)

設定の検証 (2)

---

### 編集

```
cache_effective_user proxy
cache_effective_group proxy
cache_mem 32 MB
maximum_object_size 1024 KB
maximum_object_size_in_memory 8 KB
cache_dir ufs /var/squid/cache 640 16 256
access_log syslog:local3.info
cache_log /dev/null
cache_store_log none
acl client src all
http_access allow client
cache_mgr admin@ebproxy.example.org
dns_v4_first on
ftp_user ftpuser@ebproxy.example.org
http_port 8080
http_port 8081 transparent
```

---

### 操作

◆ファイルの選択

サービスに適用する 設定ファイル :	サービスに適用する設定ファイルを選択します。 サービスに適用する設定ファイルを変更した場合、あるいは直接編集モードを初めて使用した場合は、サービスタブでサービスの再起動を行って下さい。
WEB I/F で作成した 設定をコピー :	WEB I/F で作成した設定ファイル(squid.conf)を直接編集用としてコピーします。
編集する設定ファイル :	編集する設定ファイルを選択します。 新規に作成したい場合は、「新規作成」を選択しテキストボックスにファイル名を指定します。 選択したファイルをコピーしたい場合は、テキストボックスにファイル名を入力し「コピー」をクリックします。 選択したファイルを削除したい場合は、「削除」をクリックします。 作成されたファイルは、/var/webui/config/proxy/userconf/に置かれます。
設定の検証 :	Squid の '-k parse' オプションを用いて編集集中の設定ファイルの検証を行います。検証結果出力において設定ファイル名 (ConfigFile) は、仮のファイル名(tmp.txt)が与えられています。
保存 :	編集したファイルを保存します。

## ■ PAC (Proxy auto-config)

Proxy auto-config (PAC)の編集

PAC URL  ※ DHCPサーバーやブラウザに指定するURLとして利用してください

PAC スクリプト

### ◆表示

PAC URL :	自動設定スクリプトを配信するための URL DHCP サーバーやブラウザに指定する URL として利用出来ます。
PAC スクリプト :	スクリプトを直接記述します <pre>function FindProxyForURL (url, host) {     var proxy = 'PROXY proxy.example.jp:8080';     ~ 省略 ~     return proxy; }</pre>

2014年12月

落丁・乱丁の場合はお取替えいたします。

EasyBlocks ユーザーズガイド

-----  
ふらっとホーム株式会社

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-1-3 日本ビルディング九段別館 3F